

# 学力向上進学重点校の成果と課題について

## 【指定校】

横浜翠嵐 横浜緑ヶ丘 横浜国際 光陵 希望ヶ丘 川和 柏陽 多摩 横須賀 追浜  
平塚江南 鎌倉 湘南 小田原 相模原 秦野 厚木 大和（18校）

平成24年度までの「県立高校教育力向上推進事業」における指定校を継続して指定。

## 1. 県立高校教育力向上推進事業 Ver.（平成25年度～平成27年度）

### 学力向上進学重点教育実践校

確かな学力と豊かな人間性・社会性を備えた次世代を担う人材育成に資するため、組織的なカリキュラム開発と授業の質的保証、個別の学力向上支援体制の充実等、生徒の第一希望の進学実現に向けた取組みを実践する。さらにアドバンス校では、グローバル人材・次世代リーダー人材育成をめざす取組みを実践する。

#### 〔具体的方向性〕

- ・組織的な授業改善に積極的に取り組み、授業の質的向上を図るとともに、キャリア教育の視点に立った組織的な進路指導体制（教科指導と進路指導の一体化）や生徒一人ひとりに応じた支援体制の向上等、学校の教育活動全体を通じて、学力の向上と大学の現役進学実績の向上をめざす。
- ・特別活動や部活動の充実などを通じて、豊かな人間性や社会性をはぐくむ。
- ・生徒、保護者のニーズ調査、満足度調査等を活用したマネジメントに取り組む。

学力向上進学重点校のさらなる深化 = アドバンス校の設定 横浜翠嵐 湘南

#### <具体的な取組の柱>

- (1) 組織的な授業改善に積極的に取り組み、授業の質的向上に取り組む。
- (2) キャリア教育の視点に立った組織的な進路指導体制（教科指導と進路指導の一体化）の向上に取り組む。
- (3) 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育活動に積極的に取り組む。
- (4) 生徒一人ひとりに応じた支援体制の向上に取り組む。
- (5) 生徒、保護者のニーズ調査、満足度調査等を活用したマネジメントに取り組む。
- (6) 大学の現役進学実績の向上に取り組む。
- (7) グローバルな視点をもった次世代を担うリーダーの育成を念頭においたカリキュラムの開発に取り組む。（アドバンス校）

## 学力向上進学重点校の推移

事業名	学力向上推進及び 特色ある県立高校づくり推進事業			県立高校教育力向上推進事業			県立高校教育力向上推進事業Ver.			
	指定校/年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27
1 横浜翠嵐	学力向上進学重点校 (10校)							アドバンス校(2校)		
2 湘南										
3 光陵										
4 柏陽										
5 横浜国際										
6 多摩										
7 横須賀										
8 鎌倉										
9 平塚江南										
10 小田原										
11 神奈川総合	発展的な学力向上重点推進校 (6校)									
12 希望ヶ丘										
13 横浜緑ヶ丘										
14 秦野										
15 厚木										
16 相模原										
17 川和										
18 大和										
19 追浜										

## 2. 入学者選抜における取組及び人事的な配慮

### (1) 入学者選抜における独自問題の実施

学校名	実施科目	開始年度
横浜翠嵐	国・数・英	平成 17 年度
光陵	国・数・英	平成 20 年度
柏陽	国・数・英	平成 19 年度
横浜国際	英	平成 17 年度
多摩	国・数・英	平成 20 年度
横須賀	国・数・英	平成 19 年度
鎌倉	数・英	平成 18 年度
湘南	国・数・英	平成 19 年度
平塚江南	国・数・英	平成 17 年度
小田原	国・数・英	平成 18 年度

- ・平成 24 年度入学者選抜まで、10 校が後期選抜において、学校独自の問題による学力検査を実施。
- ・独自問題は、その高校の特色を踏まえ、思考力や創造性など各校が重視する学力内容をよりきめ細かくみる問題。
- ・独自問題も全県共通の問題と同様に中学校学習指導要領の範囲内から出題され、全教科とも 50 分で実施。

\*平成 19 年度に学力進学重点校に指定された 10 校が、独自問題実施校。

### (2) 入学者選抜における特色検査の実施（平成 25 年度入学者選抜から）

「特色検査」とは、高等学校が共通の検査以外に各校の特色に応じて実施することができる検査で、学力検査や面接では測ることができない総合的な能力や特性をみる検査。その結果は選考資料の一部として活用。

- ・「特色検査」は、実技検査または自己表現検査となり、そのうち、自己表現検査は、与えられたテーマに基づくスピーチによる発表、指定したテーマについてのグループ討論、中学校までの学習を教科横断的に活用して設問に対する答えや考えの記述など、それぞれの高等学校で設定した内容。

学力向上進学重点校のうち、「特色検査」（自己表現検査・実技検査）の実施校

横浜翠嵐 横浜緑ヶ丘 横浜国際 光陵 希望ヶ丘 柏陽 平塚江南 湘南 小田原 厚木  
(10 校) <平成 26 年度入選>

- ・検査時間は 50 分から 60 分。（光陵は、学校が提示した課題について、5 分以内での口頭発表）  
横浜国際のみ、実技検査として実施。（口頭による 10 分間の英問英答）

## 3. 成果と課題

### 成果

学力向上を目指した組織的な授業改善への取組、教育活動公開の実施を通じたその取組と成果の全県への発信。

キャリア教育の視点に立った知的探究心を高める教育活動の展開。

土曜講習・長期休業中等の講習の充実など、学力向上のための支援体制の構築。

学校外の資源の活用も含めた組織的な進路指導の展開。

一人ひとりの進路希望の実現、現役大学進学率の向上。

これらの取組の他の県立高校への波及による県立高校全体の教育力の向上。

### 課題

生徒の学力の向上と生徒の第一希望の進学実現にむけた取組を实践する学力向上進学重点校として、学校としての意思統一や推進体制の整備の遅れ等により、取組が必ずしも十分に進んでいない学校もある。

### 今後の方向性

各校に積極的な取組を促し、その取組状況や成果の把握に努めるとともに、学力向上進学重点校の今後のあり方について検討する必要がある。